

2004年5月17日発売

年2回発行 年間予約(10,000円)受付中

韓国記録学会誌

The Korean Journal of Archival Studies

ISSN:1349-2632

記録学研究

日本語版 創刊号 (韓国語版 通巻番号 8号 2003年10月)

B5版 206頁 ISBN4-939153-26-6 C3400 定価5,000円(4,762円+税+送料340円)

発行：ピスタピー・エス

〒167-0022 東京都杉並区下井草5-12-2

<http://www.vistaps.com>

Tel:03-5303-7420

Fax:03-5303-7422

e-mail: customer@vistaps.com

取扱：官報販売所および政府刊行物センター

【本書の構成】

論文

韓国記録管理体制の成立過程と構造

政府記録保存所を中心に

Yi, Kyung-yong (イ キョンヨン)

記録物分類基準表の運営と課題

Park, Yoo-jin (パク ユジン)

ポスト保存記録物管理に関する研究

Ko, Sun-me (コ ソンミ)

ドイツ経済アーカイブズの形成と類型

Kim, Young-ae (キム ヨンエ)

EADの構造と適用に関する研究

Kang, So-youn (カン ソヨン)

DIRKS - Manual の実用的適用

Kim, Ik-han (キム イクハン)

書評

Kwak, geon-hong(クワク コンホン)著「韓国記録管理の理論と実態

: 記録がなければ歴史もない」

Sul, Moon-won (ソル ムンウォン)

Elizabeth Yakel 著、カン ミョンスク訳「Starting An Archives」

Lee, Won-kyu (イ ウォンギョ)

韓国では1999年に「公共機関の記録物管理に関する法律」(記録物管理法)が制定し、2000年から施行された。韓国記録学会は2000年に発足し学会誌「記録学研究」の発行を始めた。それと前後して大学では記録学修士課程が開設されて、本格的なアーキビストの養成が始まった。2005年には博士課程が開設される予定である。政府記録保存所を初めとして、各機関においても、この法律に基づいて記録物を収集・管理したり、貴重な史料は政府記録保存所へ移行するなどの模索と実験がはじまった。一つの例として、ソウル大学記録館の設立(2001年)(<http://archives.snu.ac.kr> 参照 日本語、英語版あり)にその経過を見ることができる。この記録館では現在、2人のアーキビストと助手を配置して、学内外に散在していた過去の記録物を収集・分類・保管・閲覧し、また、学校の運営上で生産される行政文書を管理する部署としての役割を担っている。

本雑誌の創刊は韓国アーカイブズ研究の現状と文書館活動の実際を知るうえで貴重な資料であると同時に、相互の研究交流に役立つものと確信しています。

取扱書店